東海・アスリート・ネットワーク

スポーツ支援・指導をしています。スポーツに接する機会の少ない障がい者に対するテニスやマラソン等の指導、外で遊ぶきっかけが減った幼児たちに向けてのキッズイベントなども行っています。

メタボが気になる中高年の方、シニアの方など、これからスポーツを始めたい方にも基本から丁寧に教えています。

金沢ヒューマン文庫を愛し守る会

蒲郡市立図書館にある金沢ヒューマン文庫の活用を通して、子どもの教育・文化向上を目指しています。

定例で児童館や小中学校等で紙芝居と絵本の読み聞かせをしています。今年は「親子料理教室」もやりました。また、新しい取り組みとしては　平和を継承していくために、「『50 人の証言・わたしの戦争体験』を読み・聞く会」を開催しました。今後もこうした活動を続けていきます。

参加したどの団体も素晴らしいプレゼンを見せてくれましたが、残念ながら上記の団体は今回の助成金は獲得できませんでした。しかし、それぞれの活動は止まることなく進んでいます。

さまざまな活動内容なので、読んでいる方の中にもピンとくる内容があったかと思います。興味をもたれた団体がありましたら、ぜひまちセンに縁つなぎのお手伝いをさせてください。

さて、そんな団体の中から、見事　助成金を獲得されたのが以下の４団体。
今年度、助成金を獲得された事業について、中間報告書を抜粋して紹介します。

春日桜会

桜の名所復元を夢見る桜公園造り
「ふるさと公園構想」事業

私達の幼い頃、形原神社（通称　春日山）の祭礼には、山一面に桜の花が覆い流れる滝のような花吹雪でした。
このかつての「桜の名所」の復活と維持発展をめざし、「郷土愛の心」を後世に伝え育てたいと頑張っているのが春日桜会です。実際、春日山の中腹あたりから、桜の木や枝越しに望める三河湾の眺望は何とも素晴らしく　目を見張り、心和ませてくれます。

全て会員の手による物ですが、ここに　第一東屋を建て、これに通ずる遊歩道の雑木を伐採した間伐材を利用して階段を作りました。それから５年が経過し、朽ちてくる物もあり、足元が危険なので、人が一番多く利用するメインの遊歩道の階段を安全な擬木の階段に作り変えるものです。
また、もう少し小高い所にも休憩所がほしいということで、第二東屋を新設。年内には完成予定です。
桜を通して、「自然と緑に対する愛情の大切さ」、自分たちの誇りである「郷土愛の心」を後世に伝えたく、現在邁進中です。

未来塾

水辺や水とふれあい
親しみのある河川と　市民が集う広場づくり事業

将来の拾石町内がよりよい環境になるようにボランティア活動をしています。会員数は１１名で、協力団体として相楽の「もりもりクラブ」さんに協力をいただいています。（拾石川の水質浄化を進めるための竹炭作りを教えていただきました）

ゴミ・空き缶拾いや　散策路の整備など、拾石川の環境づくりをして、将来の自分たちの子供たち、そして、その次の世代に継承して、より良い形で残せるような親しみのある河川にしたい。

また、町内にある「拾石町スポーツ広場」に植栽やベンチ作りをして、拾石町会館と一体にした町民・市民が自然に集まりにぎやかに語らえる環境づくりに勤めています。

今後は現在の会員数を維持し、無理をせずできるかぎり活動を続けたいです。